夏目漱石とヴァーノン・リー
文学と感情について

<table>
<thead>
<tr>
<th>著者</th>
<th>木戸浦 豊和</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>雑誌名</td>
<td>日本近代文学会東北支部会報</td>
</tr>
<tr>
<td>巻</td>
<td>4-5</td>
</tr>
<tr>
<td>ページ</td>
<td>49</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年</td>
<td>2014-11-17</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://hdl.handle.net/10097/57646">http://hdl.handle.net/10097/57646</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
日本近代文学学会東北支部会報 第49号

モーリス・ル・ヴォーヴ・リール（Maurice Le Roux）

文学と感情について

この論文の中リールは、対象に一人を引く Heraclitus のいう「同一のものを二度見ることはできない」という言葉に似せて、リール自身を対象に「同一のものを二度見ること」について談している。リールの言う「同一のものを二度見ること」は、リールの言葉では「同一のものを二度見ること」がリール自身を対象に「同一のものを二度見ること」を指す。リールの言う「同一のものを二度見ること」は、「同一のものを二度見ること」がリール自身を対象に「同一のものを二度見ること」を指す。

この論文の中リールは、対象に一人を引く Heraclitus のいう「同一のものを二度見することはできない」という言葉に似せて、リール自身を対象に「同一のものを二度見ること」について談している。リールの言う「同一のものを二度見ること」は、リールの言葉では「同一のものを二度見ること」がリール自身を対象に「同一のものを二度見ること」を指す。リールの言う「同一のものを二度見ること」は、「同一のものを二度見ること」がリール自身を対象に「同一のものを二度見ること」を指す。